

《教育関係について》

◎ 教育委員会事業

(1) 定例会・臨時会開催日数

総務課

事業概要	定例会は原則、毎月第2火曜日に開催することと規則で定めており、付議事件を告示して招集し、教育委員会の権限に属するすべてを審議する。 臨時会は、随時付議事件を告示して招集し、告示された事件について審議する（急施を要するものを除く）。													
	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
傍聴人数	定例会	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人						
	臨時会				0人							0人	0人	0人
臨時会の回数		0回	0回	0回	1回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	1回	1回	3回

(2) 付議事件関係

総務課

区分	教 育 長 提 出					年間延べ件数
	条例改正案等	規則・令等	予算案	人事	その他	
定例会	1件	13件	9件	6件	3件	32件
臨時会	0件	0件	0件	3件	3件	6件
合計	1件	13件	9件	9件	6件	38件

※ 「その他」には、教育委員会の方針決定等を含む。

(3) 付議事件の結果関係

総務課

区分	教 育 長 提 出				年間延べ件数
	原案可決	修正可決	否決	その他	
定例会	32件	0件	0件	0件	32件
臨時会	0件	0件	0件	6件	6件
合計	32件	0件	0件	6件	38件

※ 「原案可決」には、承認・認定・同意を含む。

(4) 教育委員会視察活動

総務課

事業目的	視察回数	視察会場	視察目的	事業成果
教育委員会定例会議を市内小中学校や社会教育施設で開催し、現場の視察や施設長から運営状況等を聞くことで、現状把握のための情報収集等を行うことができる。	7回	吉田幼稚園 (5月15日)	園長による運営状況の報告と園内視察	机上の報告書だけではなく、教育活動現場を視察し、生の声を聞くことで、教育施設を取り巻く環境やさまざまな活動を確認し、活発な意見交換を行うことができた。
		行幸小学校 (6月11日)	校長による学校経営状況の報告及び校内視察と給食の試食	
		中央公民館 (8月20日)	館長による利用状況及び活動状況等の報告と館内視察	
		吉田小学校 (9月17日)	校長による学校経営状況の報告及び校内視察と給食の試食	
		西中学校 (11月13日)	校長による学校経営状況の報告及び校内視察	
		幸手中学校 (2月12日)	校長による学校経営状況の報告及び校内視察と給食の試食	
		郷土資料館 (3月10日)	館長による利用状況及び活動状況等の報告と館内視察	

(5) 定例会協議事項

総務課

事業目的	協議事項議題	定例会開催日
隔月で、教育に係る諸課題・諸問題等について、調査・研究を行い、テーマを定めて協議を行うとともに、先進地事例から学ぶことで教育の質の更なる向上を図る。	教育指導上の諸課題について	令和元年5月15日
	先進地事例から学ぶ ～庄和北部地域の学校再編について～	令和元年7月9日
	学校としての働き方改革等について	令和元年8月20日
	各学校の読書の取組について	令和元年10月8日
	台風19号の対応状況と教育施設の活用について	令和元年12月24日
	民法の一部改正に伴う幸手市成人式のあり方について	令和2年2月12日
	英語教育の現状について	令和2年3月10日
	新型コロナウイルス感染症等に係る感染症対策について	

◎ 総合教育会議

総務課

事業概要	総合教育会議は、市長と教育委員会とが相互の連携を図り、重点的な施策等についての協議を行う。		
開催月、協議・調整事項及び傍聴人数	開催月	協議・調整事項	傍聴人数
	1月	幸手市の教育行政について	0人

◎ 児童生徒健全育成事業

指導課

事業目的	事業概要	事業成果
いじめ、不登校、非行、問題行動等の生徒指導の諸課題を協議し、健全育成に資する。	<ul style="list-style-type: none"> 幸手市教育相談連絡会 学校ごとに年4～6回参加者 校長、教頭、生徒指導主任、教育相談主任、指導主事、スクールソーシャルワーカー等 	生徒指導上の諸課題について認識を深めるとともに、児童生徒の健全育成に寄与した。

◎ 幸手市いじめ問題対策連絡協議会

指導課

事業目的	事業概要	事業成果
いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号）第14条第1項の規定に基づき、幸手市いじめ問題対策連絡協議会を置く。	<p>11月1日（金）～15日（金） 幸手市いじめ防止強化期間 いじめ防止の標語の選定 「学校生活アンケート」の結果について （事業費 110,467円）</p>	<p>幸手市いじめ防止強化期間を市民に周知するため、横断幕を掲示した。</p> <p>市内小中学校の全児童生徒にいじめ防止のための標語を作成してもらい、最優秀賞、優秀賞を決め、表彰した。</p>

◎ 教育支援員等の配置

指導課

事業名	事業目的	配置場所数	事業成果
教育支援員配置事業	障害のある児童生徒及び学習に課題のある児童生徒の在籍する学級を有する学校において、児童生徒の生命の安全を確保するとともに、生活指導、学習指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 9校 18人 ・中学校 3校 9人 (事業費42, 125, 577円)	各学校における生活指導及び学習指導の充実を図ることができた。また、特別支援学級への配置により、個に応じた合理的配慮を充実させることができた。
さわやか相談員配置事業	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じるとともに、学校、家庭及び地域社会と連携し、健全な児童生徒の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校 3校 3人 (事業費5, 423, 286円)	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じ、さらに学校、家庭及び地域社会と連携し、健全な児童生徒の育成が図れた。
教育相談員・心すこやか支援員配置事業	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じるとともに、不登校児童生徒が学校復帰を目指すための学習・生活面の支援を行い、教育相談体制の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・心すこやか支援室 (旧シルバー人材センター内) 教育相談員 1人 心すこやか支援員 4人 (事業費 4, 111, 527円)	いじめ、不登校等について、児童生徒及びその保護者からの相談に応じ、不登校児童生徒が学校復帰を目指すための適応指導を施し、教育相談体制の充実が図れた。
日本語指導員配置事業	市内小・中学校の児童生徒のうち、外国語を母語とする児童生徒の学習指導等に対応するため、日本語指導員を配置し学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校 3人 (事業費 904, 700円)	外国語を母語とする児童生徒の学習指導・生活指導等に担任や教科担任と連携して「個に応じた支援」を行い、学習の充実が図れた。
ふれあい相談員配置事業	市内小・中学校におけるいじめや不登校の児童生徒及び保護者との相談に応じるとともに、学校、家庭、地域との連携を図るため、ふれあい相談員を配置し、健全な児童生徒の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校 3校 3人 (事業費 1, 568, 560円)	幸手市さわやか相談員と連携し、児童生徒との相談・援助を行うことで、不登校傾向のある児童生徒の心の安定や学習の充実が図れた。

◎ 道徳教育推進事業

指導課

事業目的	事業概要	事業成果
<p>児童生徒の豊かな心をはぐくむため、道徳教育に係る外部講師を招き、教員の指導力向上を図るとともに、幸手市郷土資料「道徳のまち さって」「道徳のまち さって ハンドブック」を活用し、道徳教育の推進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育推進協議会議を2回開催 ・道徳推進協議会議主催のあいさつ標語コンクールを小中学校で実施 ・埼玉県道徳教育推進モデル校（行幸小学校）による道徳教育の研究推進 (事業費 1,227,695円) 	<p>道徳教育の成果を一層高めるため、「幸手市道徳教育推進協議会議」を設置し、学校、家庭、地域が連携し、取組を展開した。 あいさつ標語の作成において児童生徒は身近なことや、体験したことをもとに考えた。素晴らしい作品が全校から応募があり、最優秀作品1点、優秀賞8点選出し、表彰した。 モデル校の研究発表会をとおして、市内小中学校における道徳教育の指導方法の工夫改善が図れた。</p>

◎ 外国青年招致事業

指導課

事業目的	事業概要	事業成果
<p>市内中学校の英語指導及び小中学校の外国語活動の充実を図るため、語学指導助手（ALT）として外国青年を招致する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致 アメリカ合衆国 3人 イギリス 1人 ・市内中学校の英語指導 ・国際理解教育の推進 ・市内小学校の外国語活動の指導 (事業費 29,450,616円) 	<p>児童生徒が英語の授業に対して主体的に、楽しく取り組み、コミュニケーション活動が更に充実し、英語学習への動機づけを図ることができた。小学校における外国語活動の充実を図ることができた。</p>

◎ さってアフタースクール事業

指導課

事業目的	事業概要	事業成果
<p>児童の学力向上、学習の習慣化のため、放課後の教室を利用して、地域の教員OBなどが国語・算数を中心に、授業の復習や宿題の支援等、児童へ学習支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者 市内9校の小学校3～6年生 ・開催回数 104回 ・参加人数 338名 ・講師 43名 (事業費 7,846,300円) 	<p>アフタースクールを実施することで、学習習慣の定着を図る一助になった。また、今年度から小学校3年生に対象を拡大し、多くの児童に学ぶ楽しさを伝えることができた。</p>

◎ 体力向上推進事業

指導課

事業目的	事業概要	事業成果
<p>市内小中学校に体力向上に関する研究を委嘱したり、ロードレース大会を開催するなど、児童・生徒の体力の向上を推進する。</p>	<p>研究委嘱関係 上高野小学校・幸手中学校 さくら小学校</p> <p>委員会関係 体力向上推進委員会 5回</p> <p>大会関係 小学校ロードレース大会 期日 10月17日(木) 参加者 児童200人 (事業費 170,197円)</p>	<p>運動に対する興味関心を高め、体力の向上を図ることができた。また、日常生活において児童生徒に主体的な健康の保持増進を図る態度が育成できた。</p>

◎ 学校給食調理業務委託事業

総務課

事業目的	委託校	事業概要	事業成果
学校給食調理業務を効果的・効率的に運営し、安心・安全な給食を提供する。	全小・中学校 (小学校 9 校) (中学校 3 校)	学校給食(自校調理方式)における調理業務を民間業者に委託する。 (事業費211,729,230円)	民間委託を推進することで、効果的・効率的に給食調理業務を運営することができた。

◎ 学校給食関係事業

総務課

事業目的	学校給食の安全向上のため、学校栄養士及び食品の細菌検査等を実施する。		
検査名等	対象	事業概要	事業成果
検便検査	学校栄養士等 12人	サルモネラ菌・病原性大腸菌 O-157 検査 (月2回) (事業費80,770円)	検査、講習会を通して、学校給食食材の安全及び衛生管理の徹底を図れた。
給食食品検査	給食食材 30検体	給食食材の検査(サルモネラ菌・病原性大腸菌 O-157 検査) (事業費134,070円)	

◎ 学校給食食材放射性物質の測定

総務課

事業目的	事業概要	事業成果
放射線に対する保護者の不安を解消するため、学校給食に使用する食材の放射性物質の測定を行う。	国産食材 4 検体の放射性物質の測定を月 1 回(全10回)実施した。 (事業費13,633円)	放射性物質は検出されなかったため、保護者の放射線への不安を解消することができ、安心安全な給食を提供することができた。

◎ 小中学校プール水放射性物質の測定

総務課

事業目的	事業概要	事業成果
放射線に対する保護者の不安を解消し、児童・生徒が安全にプールの授業を実施するため、小中学校のプール水について放射性物質の測定を行う。	プール開き後(全校)の放射性物質の測定を実施した。 (事業費 103,680円)	放射性物質は検出されなかったため、保護者の放射線への不安を解消することができ、安心してプール事業を実施できた。

◎ 保健・健康事業

総務課

事業目的	学校保健安全法に基づき、児童、生徒及び教職員の健康管理のため、各種検診を実施する。		
検診名	検診対象者	事業概要	事業成果
心臓検診	小学校 1・4年生 中学校 1年生	心電図、医師の問診等による検診 (事業費 2,388,960円)	受診者数 1,106人 受診率 99.7%
尿検査	小・中学校 全児童・生徒	検尿による尿糖、タンパク等の検査 (事業費 728,568円)	受診者数 3,373人 受診率 99.9%
小児生活習慣病 予防健診	小学校 4年生	採血、血圧、医師の問診等による検査 (事業費 1,248,912円)	受診者数 413人 受診率 99.5%
脊柱側彎症 ^{わん} 検診	中学校 1年生	モアレトポグラフィー法による検査 (事業費 233,280円)	受診者数 360人 受診率 99.7%
結核検診	児童・生徒 (要精密検査 受診者) 教職員	児童・生徒 胸部X線撮影による精密検査 教職員 胸部X線撮影 (事業費 345,639円)	児童・生徒 7人 教職員 179人
健康診断 胃がん検診 大腸がん検診	教職員	健康診断・胃部X線撮影・便潜血反応検査 (事業費 2,061,390円)	健診受診者数 177人 胃がん受診者数 60人 大腸がん受診者数 71人

◎ 学校給食費補助金（指定補助）

総務課

事業目的	多子世帯の学校給食費を援助することで保護者の経済的負担を軽減し子育て支援の推進を図る。					
区分	第2子	金額	第3子以降	金額	合計	金額
市内小学生	687人	14,715,957円	95人	4,064,771円	782人	18,780,728円
市内中学生	61人	1,494,720円	0人	0円	61人	1,494,720円
特別支援学校 (小・中学生)	4人	51,542円	1人	26,800円	5人	78,342円
合計	752人	16,262,219円	96人	4,091,571円	848人	20,353,790円
事業成果	保護者の経済的負担を軽減し子育て支援の推進が図れた。					

◎ 就学援助及び特別支援教育就学奨励事業

総務課

(1) 就学援助事業

事業目的	認定数	支給者及び援助額	事業成果
経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、義務教育の円滑な実施を図るために必要な援助を行う。	児童生徒 640人 就学予定児童 39人	学用品費等 679人 24,584,665円 学校給食費 637人 28,422,534円	保護者の義務教育に係る費用の経済的な負担を軽減することにより、対象児童生徒に円滑な義務教育が実施できた。

(2) 特別支援教育就学奨励事業

事業目的	認定数	援助額	事業成果
特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者に対して経済的負担を軽減するために、特別支援学級への就学のための必要な経費の一部を援助する。	42人	1,398,218円	特別支援学級へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励が図れた。

◎ 入学準備金貸付事業

総務課

事業目的	貸付者数及び貸付金額	事業成果
高等学校、大学及び専修学校への入学を希望する者の保護者で、入学準備金の調達が困難な者に対して、教育を受ける機会を与えることを目的として、貸付事業を行う。	大 学 3人 専修学校 1人 高等学校 2人 2,500,000円	保護者の経済的な負担を軽減すると共に、高等学校、大学、専修学校に入学を希望する者に対し、教育を受ける機会を与えることができた。

◎ 小中学校トイレ大規模改修事業

総務課

事業目的	学校トイレの洋式化を行うとともに、室内の衛生面、環境面の向上を図る。
事業概要	校舎内トイレ及び屋外トイレの洋式化を含めた全面改修工事を行う。また、未改修校の実施設計を行う。
事業費	さかえ小学校 工事請負費 106,993,440円 監理委託料 5,610,000円 (以上、平成30年度からの繰越(繰越明許費)) 長倉小学校 工事請負費 34,838,100円 監理委託料 1,980,000円 幸手小学校 設計委託料 745,200円 上高野小学校 設計委託料 1,015,200円 行幸小学校 設計委託料 1,058,400円 幸手中学校 設計委託料 4,328,640円
事業成果	学校トイレの洋式化を行い、室内の衛生面、環境面の向上が図れた。

◎ 吉田幼稚園学級・園児数（令和元年5月1日現在）

指導課

学 級 数				園 児 数			
年 少	年 中	年 長	合 計	年 少	年 中	年 長	合 計
1学級	1学級	1学級	3学級	10人	20人	20人	50人

◎ 吉田幼稚園環境整備事業

指導課

事 業 名	事 業 概 要	事 業 成 果
絵 本 購 入	保育室等の絵本を購入する。 (事業費 8,895円)	園児たちが興味・関心をもつ絵本等を購入したことで情緒の安定や情操教育などの教育環境を整えることができた。

◎ 私立幼稚園関係補助事業（指定補助）

こども支援課

補助金名	事 業 概 要	補 助 内 容	事 業 成 果
私立幼稚園就園奨励費補助金	私立幼稚園に通園する市内の園児の保護者の所得状況に応じた経済的負担軽減を図るため、入園料及び保育料の一部を補助する。	485件 35,862,100円	市内の園児の保護者の経済的負担軽減が図れた。
私立幼稚園振興補助金	市内の私立幼稚園の振興を期するためにその設置者に対して、予算の範囲内で補助する。	5園 2,700,000円	市内の私立幼稚園の備品及び施設管理の充実に寄与した。
私立幼稚園保育料軽減事業補助金	市内の私立幼稚園に通園する市内の園児の保護者への経済的負担軽減を図るために、保育料の一部を補助する。	475件 3,325,000円	市内の私立幼稚園に通園する市内の園児の保護者の経済的負担軽減が図れた。

※ 令和元年10月からの幼児教育・保育無償化の実施に伴い、私立幼稚園就園奨励費補助金及び私立幼稚園保育料軽減事業補助金については、令和元年9月で終了。

◎ 人材バンク（さって市民生きがい教授）設置事業

社会教育課

事業目的	生涯学習の機会を広げるために、様々な分野の指導者の登録を行い、誰もが活用できるよう情報提供を行う。
登録者数	60人
事業成果	指導者に関する詳しい情報をホームページで公開することで学習機会を求める市民がいつでも情報を入手することができた。

◎ 家庭教育学級開設事業

社会教育課

事業目的	保護者が自信をもって子育てをするために、相互の交流親睦を深め、仲間づくりを行いながら様々な学習に取り組む場を設ける。					
期間	平成31年4月～令和2年2月					
運営	各学級が自主的に実施					
方法	委託事業 10団体 合計 269,497円 1団体の委託料は27,000円を上限とする。					
説明会	平成31年4月24日(水) 市役所第2会議室 埼玉県家庭教育アドバイザーによる体験講座を同日実施					
事業内容	No.	学級開設団体名	対象	回数	延べ参加者数	学習領域
	1	幸手小学校 P T A	会員	4回	81人	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活習慣に関する事 ・子育てに関する事 ・教育に関する事 ・社会環境に関する事
	2	権現堂川小学校 P T A	会員	2回	21人	
	3	上高野小学校 P T A	会員	3回	109人	
	4	八代小学校 P T A	会員	2回	95人	
	5	吉田幼稚園 P T A	会員	3回	70人	
	6	第二幸手幼稚園 母の会	会員	4回	63人	
	7	幸手さくら幼稚園 母の会	会員	3回	132人	
	8	幸手白百合幼稚園 家庭教育学級	父母	3回	68人	
	9	幸手ひまわり幼稚園 保護者会	会員	2回	62人	
	10	サークル青空	会員	4回	90人	
合 計					791人	
事業成果	保護者が各学級に参加することで、子育てや教育に関する知識を習得しながら、相互に交流を図り、仲間づくりを進めることができた。					

◎ 社会教育関係団体の概要と補助金（一般補助）

社会教育課

事業目的	青少年育成や文化活動など社会教育に関する活動を行う団体の活動を支援するために補助金を交付する。			
交付実績	団体名・会長名	主な活動	会員数等	交付額
	幸手市子ども会 育成連絡協議会 会長 伊藤 浩和	さって郷土かるた大会 彩の国21世紀郷土かるた 大会	5単位子ども 会（吉田・権 現堂川地区） 272人	750,000円
	幸手市連合婦人会 会長 森泉美江子	中央学級 各種大会協力 ボランティア活動	3地区婦人会 （行幸・上高 野・幸手）	285,000円
	幸手市文化団体連合会 会長 中村 孝子	文連作品展 文連発表会 文化祭 文連だより発行	45団体・6連合 1,058人 指導部 30人	729,000円
	幸手市P T A連合会 会長 宮田 充	P T A連合会だより発行 交通安全ポスターコン クール	12単位P T A 小学校 9校 中学校 3校	350,000円
	幸手市人権教育推進協議会 会長 山西 実	人権教育研修会	理事制	700,000円
	幸手市郷土芸能保存会 会長 小森谷 勝	後継者育成 伝承技術の向上	3団体 （千塚・松石 ・高須賀）	180,000円
	ボーイスカウト幸手団 連絡協議会 代表 中村 行生	夏季キャンプ クリスマス会 ハイキング	30人	170,000円
	幸手市青少年相談員協議会 代表相談員 長野 廣彬	清水公園 バスツアー※ デイキャンプ事業 ジャンボかるた体験	16人	110,000円
	幸手市公民館クラブ 連絡協議会 会長 富野 武彦	クラブ交流グラウンドゴ ルフ大会 リーダー研修会	71クラブ 911人	90,000円
事業成果	関係団体に補助金を交付することで、事業運営を支援することができ、社会教育活動の推進が図れた。			

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

◎ 社会教育委員

社会教育課

事業目的	社会教育に関する計画の立案及び施策の推進に必要な調査研究を行うために設置する。	
事業内容	期日・会場	内 容
	5月17日（金） 八潮市民文化会館	埼玉葛郡市社会教育振興会総会・研修会 （1）30年度事業報告・31年度事業計画等について （2）表彰 （3）研修会（講演会）
	5月27日（月） 国立女性教育会館	埼玉縣市町村社会教育委員連絡協議会総会・研修会 （1）30年度事業報告・31年度事業計画等について （2）表彰 （3）研修会
	7月17日（水） 市役所第2会議室	幸手市社会教育委員会議 （1）議長・副議長の選出について （2）平成30年度事業報告について （3）令和元年度事業計画について
	8月7日（水） 市役所第2会議室	幸手市社会教育委員会議 （1）市民文化祭の展示について
	9月10日（火） 市役所第1会議室	幸手市社会教育委員会議 （1）市民文化祭の展示について
	9月24日（火） 市役所第1会議室	幸手市社会教育委員会議 （1）幸手市文化祭の展示について （2）東部地区社会教育関係委員・職員研修会の発表会について
	10月16日（水） 市役所第1会議室	幸手市社会教育委員会議 （1）幸手市文化祭の展示について
	10月23日（水） 保健福祉総合センター第2会議室	幸手市社会教育委員会議 （1）幸手市文化祭の展示について
	12月3日（火） 市役所第2会議室	幸手市社会教育委員会議 （1）幸手市文化祭展示部門の反省と今後に向けて （2）埼玉葛郡市社会教育振興研修会の発表に向けて
	1月8日（水） 市役所第5会議室	幸手市社会教育委員会議 （1）東部地区社会教育関係委員・職員研修会の発表に向けて
1月23日（木） 八潮市民文化会館	東部地区社会教育関係委員・職員研修会 （1）講演会「学校と地域をつなぐー社会総がかりで子どもを育むためにー」 （2）実践発表「八潮市・幸手市」	
事業成果	社会教育に関する現状と課題について、調査研究を行うとともに、問題の解決に向けた今後の方向性を示すことができた。	

◎ すこやか子育て講座開催事業

社会教育課

事業目的	核家族化やコミュニティ意識の希薄化による家庭教育力の低下を改善するため、小学校入学前の子どもを持つ保護者を対象に、家庭教育に関する講話や意見交換など、子育てについて学べる機会を設ける。				
謝金	7,000円×9校=63,000円				
対象	令和2年度新1年生の保護者				
事業内容	学校名	開催日	テーマ	講師名	参加者数
	幸手小	10月2日(水)	入学前の家庭生活について	島田 雪子	46人
	行幸小	10月3日(木)	小学校入学までに家庭で準備しておきたいこと	望月 光子	55人
	吉田小	10月3日(木)	育ちあい、話して深める親子関係	関 千代子	7人
	さかえ小	10月3日(木)	「3つのめばえ」を踏まえた子育て支援	松本 浩子	15人
	さくら小	10月4日(金)	入学前の家庭生活について	松本 浩子	67人
	権現堂川小	10月10日(木)	小学校入学前までに子どもたちに身につけて欲しいこと～子どもの自立に向けて～	島田 雪子	10人
	八代小	10月10日(木)	入学までに家庭で準備しておきたいこと～子どもが元気に楽しく学校生活を送るために～	望月 光子	7人
	長倉小	10月10日(木)	幼児期の発達～ことばの側面から～	田尻恵美子	73人
	上高野小	10月24日(木)	どう育てるの？子供のやる気と根気	島田 雪子	45人
	合 計				
事業成果	小学校入学前の子どもの状態や保護者の心構えなどを学ぶことにより、子育てに必要な知識等を習得することができた。講座と併せて実施した保育ボランティアの派遣により、保護者が講座に集中して参加するための環境整備も整えることができた。				

◎ 子どもセンター事業

社会教育課

事業目的	青少年の体験活動を推進するため、サーチ隊（子ども編集員）による取材を基にした情報紙の発行、長期休暇中のバスツアーや体験講座の企画・運営を行う。															
事業内容	<p>◎年間テーマ 『オリンピック・パラリンピック』</p> <p>(1) 情報紙の発行（年3回） ※サーチ隊の取材・記事作成の指導を含む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称 「わく²幸手っ子プチ」 ・発行内容 <ul style="list-style-type: none"> ①No.37夏号（7月発行）：サーチ隊がゆく！スポーツフェスティバル2019 オリンピック・パラリンピックイズ つくってみてみて「旗をつくろう」 ②No.38冬号（12月発行）：サーチ隊がゆく！大門卓球場 会田道場 体験取材 つくってみてみて「アイマスク」 ③No.39春号（3月発行）：サーチ隊がゆく！ベナン大使館 ベナン共和国情報、新年度サーチ隊募集 つくってみてみて「バナナフリッター」 ・発行形式 A4版 両面 色紙 1色刷り ・発行部数 各2,800部 ・配布先 市内小学校の全児童、市内公共施設の情報コーナー ・編集 集 <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター4人 ・サーチ隊（子ども編集員）9人（公募小中学生） ・編集会議 サーチ隊編集会議 7回 取材・編集等 編集会議 7回 企画・編集・校正等 <p>(2) 壁新聞の発行（年3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称 「さてライト新聞」 ・発行内容 <ul style="list-style-type: none"> ①7月発行：スポーツフェスティバル情報、ベナン共和国紹介 夏休みバスツアー告知 ②10月発行：夏休みバスツアー報告 アスカルススポーツフェスティバル情報、冬休み体験教室告知 ③3月発行：冬休み体験教室報告、サーチ隊の一年間、サーチ隊募集告知 ・発行形式 A2版 カラー ・発行部数 18部 ・配布先 市内小学校、公民館、図書館、社会教育課 ・編集 集 コーディネーター4人 ・協力 サーチ隊（子ども編集員）9人（公募小中学生） ・編集会議 5回 ※「わく²幸手っ子プチ」と共同実施 <p>(3) 体験活動の企画運営（イベントの開催など）・活動内容</p> <table border="1" data-bbox="379 1541 1501 1912"> <thead> <tr> <th>期 日</th> <th>内 容</th> <th>対 象</th> <th>参 加 者 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①7月24日（水） ②8月20日（火）</td> <td>子どもわくわくバスツアー 科学技術館（千代田区） パナソニックセンター東京 （江東区）</td> <td>小学1年 ～6年生</td> <td>①30人 ②30人 合計60人 （定員各30人） ※応募125人</td> </tr> <tr> <td>12月21日（土）</td> <td>冬休み体験教室 「ブラインドサッカー」</td> <td>小学1年 ～6年生</td> <td>32人 （定員32人） ※応募32人</td> </tr> </tbody> </table>				期 日	内 容	対 象	参 加 者 数	①7月24日（水） ②8月20日（火）	子どもわくわくバスツアー 科学技術館（千代田区） パナソニックセンター東京 （江東区）	小学1年 ～6年生	①30人 ②30人 合計60人 （定員各30人） ※応募125人	12月21日（土）	冬休み体験教室 「ブラインドサッカー」	小学1年 ～6年生	32人 （定員32人） ※応募32人
期 日	内 容	対 象	参 加 者 数													
①7月24日（水） ②8月20日（火）	子どもわくわくバスツアー 科学技術館（千代田区） パナソニックセンター東京 （江東区）	小学1年 ～6年生	①30人 ②30人 合計60人 （定員各30人） ※応募125人													
12月21日（土）	冬休み体験教室 「ブラインドサッカー」	小学1年 ～6年生	32人 （定員32人） ※応募32人													
事業成果	令和元年度はスポーツフェスティバル見学など、テーマ「オリンピック・パラリンピック」に関連した話題への取材を行えた。サーチ隊は活動を通じて社会性や協調性を育みながら体験できた。また、情報紙を市のホームページに掲載することで、対象となる小学生だけでなく広く市民に周知できた。															

◎ 子ども大学さって

社会教育課

事業目的	地域にある大学や団体と連携し、子どもの知的好奇心や探究心を育み、郷土への親しみ、関心を高めるため、「子ども大学さって」を開催する。				
対象	小学3年生～6年生				
事業内容		期日・会場	内容	講師名	参加者数
	第1回	11月4日(月) ウェルス幸手 会議室	入学式 新聞づくり① 「取材のしかた・メモの とり方」	株式会社 高読 代表取締役 高木 康夫	11人
	第2回	11月10日(日) 中央公民館 市民まつり会場	市民まつりへGO! 幸せインタビュー ハッピーハンドのお手伝 い体験	一般社団法人 幸手青年会議所 理事 長地 宮澤 大地	8人
	第3回	11月17日(日) 日本保健医療大学 幸手北キャンパス	笑い!と健康	日本保健医療大学 看護学科 黒田 勇輔	9人
	第4回	11月17日(日) 日本保健医療大学 幸手北キャンパス	やってみよう! 心肺蘇生法	日本保健医療大学 ローターアクトク ラブ 会長 関将希	9人
	第5回	12月1日(日) 西公民館 講座室	新聞づくり② 「子ども大学さって新聞 を作ろう」 「クリスマス切り絵をつ くろう」 修了式	株式会社 高読 代表取締役 高木 康夫 社会教育課 菊地 万里子	10人
事業成果	地域の大学や団体の協力を得ながら、子どもの知的好奇心や探究心を育むことができた。また、市民まつりの取材を通じて、郷土への親しみ、関心を高めることができた。				

◎ 放課後子ども教室開催事業

社会教育課

事業目的	放課後の時間に小学生を対象にして、地域の協力により、スポーツ・文化などさまざまな体験の場を設け、知識・体力の向上を図りながら交流を深める。			
対象	小学生児童（放課後子ども教室実施小学校）			
事業内容	学校名	内 容	実 施 期 間	参 加 者 数
	吉田小学校	卓球教室	4月～3月（全21回） ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため3回中止。	延べ 463人
	吉田小学校	和太鼓教室	7月～3月（全18回） ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回中止。	延べ 236人
事業成果	吉田小学校において、地域の協力を得ながら、スポーツや文化活動を体験できる場を設定することができ、知識・体力の向上が図れた。			

◎ 青少年健全育成事業

社会教育課

事業目的	次代を担う青少年の健全育成を図るために、「青少年育成推進員」によって相互の連絡調整や健全育成啓発活動などを行う。	
事業内容	期日・会場	内 容
	5月28日（火） 市役所 第5会議室	【第1回会議】 （1）平成30年度活動状況報告 （2）令和元年度活動計画について （3）学校訪問について （4）市内非行防止パトロールについて （5）その他
	7月17日（水） 市役所 第2会議室	【第2回会議】 （1）非行防止啓発活動について （2）学校訪問について （3）第3回青少年育成推進員協議会会議及び非行防止パトロールについて （4）その他
	7月17日（水） 幸手駅 杉戸高野台駅	【街頭キャンペーン】 幸手駅前と杉戸高野台駅にて、非行防止チラシ等を配布した。（参加者12人）
	8月27日（火） 市役所 第2会議室	【第3回会議】 （1）学校訪問について （2）非行防止パトロールについて （3）推進員研修内容の希望について （4）今後のスケジュールについて （5）その他
8月27日（火） 市 内	【非行防止パトロール】 公園やゲームセンターを中心に2班に分かれて巡回した。（参加者13人）	

◎ 青少年健全育成事業のつづき

社会教育課

	期日・会場	内 容
事業内容	12月20日（金） 市役所 第2会議室	【第4回会議】 (1) 非行防止パトロールについて (2) 学校訪問実施について (3) その他
	12月20日（金） 市 内	【非行防止パトロール】 コンビニエンスストアへ2班に分かれて巡回した。 (参加者11人)
	2月19日（水） 市役所 第1会議室A	【第5回会議】 (1) 学校訪問報告 (2) 情報交換等 (3) 令和2年度幸手市青少年育成推進員協議会の活動について (4) 第3回非行防止パトロール (5) その他
	3月25日（水） 市 内	【非行防止パトロール】 ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
	そのほかの活動 ・学校訪問（9月～1月）小学校9校 中学校3校 高校1校	
事業成果	青少年育成推進員による啓発活動や市内パトロールの実施により、青少年健全育成に関する地域環境の向上が図れた。	

◎ 令和元年成人式開催事業

社会教育課

事業目的	新成人の門出を祝福するとともに、成人としての自覚を促しながら、故郷を再認識し、地域に貢献できる人づくりを図るために、式典を開催する。	
主催	幸手市・幸手市教育委員会	
運営	幸手市成人式実行委員会	実行委員（新成人）9人 協力員（社会教育関係者）4人
方法	委託事業	委託料 777,777円
期日・会場	令和2年1月12日（日） 市民文化体育館 さくらホール	
対象	平成11年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人	
参加者数	301人（参加率：69%）	
事業内容	テーマ：「Gratitude ～令和を拓く～」 内 容：①式典 ②アトラクション＝クイズ、抽選会	
事業成果	旧交を温めつつ、新成人として社会に踏み出す自覚を促す機会を提供することができた。また、新成人で構成される実行委員会を組織し、自らの手で式典を構成することで、責任感を醸成するとともに、協力することの大切さを認識してもらうことができた。	

◎ 令和元年度還暦式開催事業

社会教育課

事業目的	満60歳を迎えた方々の「還暦」をお祝いするとともに、積極的に地域貢献活動等に関わるアクティブシニアに向けての働きかけを行い、もって生涯学習の進展や地域の活性化等を推進するための情報提供の場として、還暦式（3回目の成人式）を開催する。
主催	幸手市・幸手市教育委員会
運営	教育部 社会教育課 市民生活部 市民協働課 健康福祉部 介護福祉課
事業費	400,876円 (報償費 300,000円、消耗品費 54,354円、食糧費 4,500円、印刷製本費18,700円、通信運搬費 23,322円)
期日・会場	令和元年11月23日（祝） 北公民館
対象	平成30年度に還暦を迎えた方
参加者数	285人（内 満60歳105人）
事業内容	内 容：①式典 ②講演 相次ぐ異常気象～この先10年が未来を変える～ 講師 井田寛子氏 ③社会参加実例発表 芝あい子氏による合唱団（アクティブシニア中心）の発表 ④アトラクション 石井明美氏と女性デュオ「えむ2えむ」によるトークと歌
事業成果	「還暦式」を実施することにより、定年退職などにより第二の人生を迎える市民が、セカンドライフを有意義に過ごしていただくための仲間づくりや地域貢献、生涯学習等に役立つ情報を提供できた。

◎ 人権教育推進協議会関係事業

社会教育課

事業目的	幸手市における同和問題をはじめとする様々な人権教育の振興を図り、明るい地域社会の形成に寄与するために人権教育に関する研修会等を実施する。			
事業内容	行事名	期日・会場	参加者数	備考
	人権教育研修会	5月13日（月） 市役所	47人	人推協役員、研究委員 人権啓発DVD視聴 タイトル「君が、いるから」
	人権教育研修会 （人権作文発表会）	12月8日（日） 北公民館	235人	市内小・中学生による人権作文の発表
事業成果	研修会等を開催することにより、人権啓発並びに指導者の養成及び資質の向上を図ることができた。			

◎ 集会所事業

社会教育課

事業目的	子どもたちを中心に、地域に住む様々な人々の相互理解の促進と、交流を深めるための活動を実施する。			
事業内容	行事名	期日・会場	参加者数	備考
	体力づくり会 親子運動会	5月18日(土) 上高野小学校	382人	親子運動会への支援
	夏のおはなし会	7月23日(火) 南公民館	60人	こわいおはなし
	子ども料理教室	12月1日(日) 南公民館	14人	かんたんクリスマスケーキづくり
	子どもお楽しみ会	12月21日(土) 南公民館	25人	人権啓発のアニメ映画上映と人形劇
	子ども料理教室	2月1日(土) 南公民館	10人	バレンタインチョコ、タピオカドリンクづくり
事業成果	おはなし会、料理教室、映画会などを開催し、多くの方の参加を得られ交流を図ることができた。			

◎ 無形文化財保存事業（一般補助）

社会教育課

事業目的	郷土芸能の保存及び伝承のために、保存会の育成を図る。
対象	幸手市郷土芸能保存会 ①千塚ささら獅子舞保存会 ②松石ささら獅子舞保存会 ③高須賀大杉ばやし保存会
事業内容	後継者育成と伝承技術の向上のため地区ごとに練習を実施し、それぞれの地区ごとに祭礼を行う。併せて、郷土芸能大会を実施する。
補助金額	180,000円
事業成果	無形文化財としての郷土芸能に親しむ機会を設け、後継者育成と伝承技術の向上に寄与することができた。

◎ 文化財保護審議会

社会教育課

事業目的	市の区域内に所在する文化財の調査、保存及び活用に関し、教育委員会の諮問に応じ重要事項を審議し、かつ、これらの事項に関し必要と認める事項を建議するために設置する。	
事業内容	期 日 ・ 会 場	内 容
	2月5日(水) 郷土資料館 講座室	(1) 令和元年度における文化財調査の中間報告 (2) 新指定文化財の候補について (3) その他
事業成果	市の文化財保護行政の実績と計画について理解し、委員としての認識が高まるとともに、委員からも文化財保護事業に対する提言や文化財活用にかかわる地域の細かな情報提供があり、文化財保護の重要性を共有することができた。併せて、市指定文化財の新規指定に向けた審議を行った。	

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回中止

◎ 文化遺産保存公開事業

社会教育課

(1) 郷土資料館開館日数及び入館者数

	令 和 元 年 度	平 成 30 年 度
開 館 日 数	294日	133日
入 館 者 数	6,272人	4,166人

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月14日(土)から3月31日(火)まで臨時休館。

(2) 展示公開事業

事業目的	<p>幸手の歴史を通覧する常設展示だけでなく、ある特定のテーマに絞った特別展示・企画展示等を実施することで、幸手の歴史と文化の深みや多様性について周知を図る。</p>
事業内容	<p>① 特別展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名称 貝が語る幸手の海 — 縄文海進と奥東京湾東縁の貝塚 — ・ 内容 今回の展示では、槇野地原遺跡・槇野地北遺跡の貝塚に焦点をあて、これまでの発掘調査で判明した縄文時代の幸手に海辺の暮らしがあったことと、同じく下総台地の奥東京湾東縁に位置する埼玉県内の近隣市町（杉戸町・春日部市・松伏町）の貝塚を紹介することで、奥東京湾の海進（拡大と縮小）という自然環境の歴史を紹介するもの。 ・ 展示期間 11月1日～翌年3月1日 ・ 展示図録 500部（見学者に無償配布） ・ 印刷費用 149,050円 <p>② 企画展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名称 市内初公開 本因坊第十世烈元の生家澤村家に伝わる江戸時代の碁盤 ・ 内容 平成30年10月に、郷土資料館が開設されたことをきっかけに、本因坊第十世の烈元の生家である上吉羽の澤村家から、同家に伝わる江戸時代の碁盤の寄託を受けたことから、この碁盤を市内で初めて一般公開し、幸手と本因坊とのかかわりを広く周知するもの。 ・ 展示期間 5月1日～8月31日 ・ 名称 埼玉県東部地区の交通 ・ 内容 市が加盟する埼玉県東部地区文化財担当者が、「交通」を研究課題として調査研究した成果について広く周知するため実施した展示。東部地区の水上交通や陸上交通など地区内の交通の発達や、それに伴う各市町の発展の歴史についてパネルと資料で解説したもの。 ・ 展示期間 9月3日～10月27日 <p>③ エントランス展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容 玄関ホールで、幸手のまつりや年中行事について、パネルと資料を展示し紹介するもの。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 端午の節句と五月人形 ・ 米どころ幸手に伝わる藁の文化—市内の「大蛇づくり」— ・ 実業家 熊倉良助ゆかりの御殿飾り雛と張り子のつるし雛
事業成果	<p>郷土資料館の開設1周年を記念して実施した特別展「貝が語る幸手の海」は、槇野地地区の遺跡から発見された縄文時代の貝塚を紹介することで、地球環境の変化で幸手にかつて海の時代があったことや、台地と低地という地形の特徴などについて、市民のみならず多くの人びとに知っていただいた。</p> <p>企画展示では、江戸時代に3代続けて囲碁の本因坊を輩出した幸手の特徴ある歴史について、貴重な江戸時代の碁盤や烈元の手紙を展示することで、理解を深めていただく良い機会となった。</p> <p>エントランス展示では、季節感を重視し、写真を多く用いて分かりやすく紹介したことで、初めて郷土資料館を訪れる来館者が、展示室とは違った親しみやすい雰囲気の中、幸手の歴史や文化を感じてもらおうきっかけづくりをすることができた。</p>

(3) 教育普及事業

① 古文書学習講座の開催

事業目的	<p>本講座は受講者が、市が収集した市域の古文書をテキストとして学習体験することを通して、まず地域の歴史を学び知ることの楽しさを感じることを第一の目的とする。</p> <p>さらに、ふるさと幸手に対する郷土愛や文化財を大切に思う気持ちを育んだ学習者が、幸手市民であることに誇りを抱き、その結果、幸手の文化的発展あるいは文化財の継承のため、自発的に考え、行動する人づくりを第二の目的とする。</p>			
事業内容	期 日 ・ 会 場	内 容	講 師	参加者数
	11月16日(土)・30日(土) 郷土資料館 講座室	江戸時代の古文書を読む (入門編)	郷土資料館 学芸員	延べ40人
	12月21日(土)・1月18日 (土)・2月15日(土) 郷土資料館 講座室	江戸時代の古文書を読む (初級編)	郷土資料館 学芸員	延べ85人
事業成果	<p>古文書に記されたくずし字の解読だけではなく、古文書が作成された時代背景や地域の歴史の解説を盛り込んだ講義を行った結果、受講者からは好評が得られた。</p>			

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回中止。

② 特別展開催記念講演会

事業目的	<p>令和元年度の特別展にあわせて、展示に関する内容への理解をさらに深めることを目的とする。</p>			
事業内容	期 日 ・ 会 場	内 容	講 師	参加者数
	1月26日(日) 郷土資料館 講座室	奥東京湾を中心とした埼玉の海 ～人類が手に入れた初めての調味料～	田中 和之	58人
事業成果	<p>縄文時代における生活形態の変化をはじめ、温暖化した縄文時代前期の環境変化と奥東京湾の形成について、当時の河川や地形、貝塚の分布状況などから詳しく説明があった。また、出土遺物から判明する当時の食材や生活文化についても具体的な事例をもとに分かりやすい解説があり、興味深い講演であった。この講演をとおして、受講者の興味関心を引き出すとともに、市民の知的要求に応えることができた。</p>			

③ ものづくり体験学習講座（ワークショップ）

事業目的	幸手の歴史に関連した地域資源を活かすことを目的とし、郷土資料館でものづくり体験講座事業を実施し、幸手の歴史や文化について周知を図る。			
事業内容	期 日 ・ 会 場	内 容	実施回数	参加者数
	毎月第2・4土曜日	機織り機で、コースターを織る体験をする。指導は、機織り体験学習市民ボランティア養成講座の受講生が行う。	18回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回中止。	延べ127人
	8月3日（土）・18日（日）	藍（生葉）のたたき染め体験	2回	22人
	11月17日（日）	貝のキーホルダーを作ろう	1回	39人
	2月11日（祝）	張り子づくり	1回	17人
	2月16日（日）	張り子の絵付け	1回	15人
事業成果	<p>機織り体験では、「幸手白」とも呼ばれた白木綿の生産がかつて盛んに行われていた幸手の手仕事の歴史を楽しみながら知っていただき、高機や織物についての理解を広めることができた。</p> <p>また、特別展示やエントランス展示に合わせてワークショップを行った結果、展示や資料館について周知することができた。</p>			

④ 第17回市史講座の開催

事業目的	<p>本講座は、市史編さん事業で得られた成果を活かし、幸手の歴史と文化を解説するものである。</p> <p>さらに、幸手固有の歴史と文化に関心を深めた市民が、今後のまちづくりに文化的視点をもって取り組めるよう、情報提供という観点からその後押しをすることも目的としている。</p> <p>第17回目の市史講座では、「中川低地」というテーマで、幸手市域の大半を占める中川低地の成り立ちや、地震などの災害と低地との関係について造詣の深い講師に講義を依頼し、その内容について市民の理解を深めることを目的とした。</p>		
事業内容	期 日 ・ 会 場	内 容	講 師
	3月15日（日） 郷土資料館 講座室	中川低地の生い立ち —縄文海進の残した地層と地震 災害の種類—	平 社 定 夫

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

⑤ 幸手市文化遺産だよりの発行

事業目的	市民に資料保存・公開事業の状況や新発見の文化財について周知し、地域の文化遺産について理解を広める。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名称 『幸手市文化遺産だより』第17号 ・ 内容 米どころ幸手に伝わる藁の文化遺産をテーマに、近年調査した市内各地区の大蛇づくりについて紹介する。 ・ 発行日 令和2年3月1日 ・ 発行部数 21,000部（広報折込で全戸配布） ・ 印刷費用 187,110円
事業成果	市内各地区で行われている大蛇づくりや新指定文化財について市民に周知することができた。

(4) 資料調査・整理事業

① 郷土資料館収蔵資料調査事業

事業目的	郷土資料館収蔵資料の保存と活用を図るため、未整理の古文書等の整理と調査を行うとともに、古文書等整理市民ボランティアの養成を目的とし実施する。
事業内容	史料の取扱い等に精通し、歴史学について専門的知識を有する嘱託史料専門員と、古文書等整理市民ボランティアとが、郷土資料館で収蔵している古文書等について調査・整理・資料台帳の作成を行うもの。
実施回数	46回
参加者数	延べ177人
事業成果	郷土資料館が収蔵する古文書約2,000点を整理し、今後活用することができるようになった。さらに、市民ボランティアを養成したほか、この事業を通して、市民に生涯学習の場を提供することができた。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため3回中止。

◎ 第59回文化祭

社会教育課

事業目的	日頃の文化活動の成果を発表する機会を設け、市民の文化交流を図る。				
主 催	幸手市・幸手市教育委員会				
共 催	幸手市公民館				
主 管	第59回幸手市文化祭実行委員会				
協 力	幸手市文化団体連合会・幸手市公民館クラブ連絡協議会				
方 法	委託事業 委託料 2,031,795円				
事業内容	行 事 名	期 間	会 場	入場者・参加者数	
	展 示 部 門	11月2日(土) ～3日(日)	市民文化体育館	6,112人	
	発 表 部 門	11月2日(土) ～3日(日)	市民文化体育館	3,684人	
	大 会	短 歌 大 会	11月3日(日)	市民文化体育館	15人
		俳 句 大 会	11月3日(日)	市民文化体育館	17人
		お 茶 会	11月2日(土) ～3日(日)	市民文化体育館	687人
		子 ども 囲 碁 大 会	11月10日(日)	保健福祉総合センター	83人
		囲 碁 大 会	11月16日(土)	保健福祉総合センター	67人
		将 棋 大 会	11月24日(日)	コミュニティセンター	85人
	そ の 他 の 催 物	模 擬 店	11月2日(土)	市民文化体育館	280人
		展示部門体験コーナー	11月2日(土) ～3日(日)	市民文化体育館	370人
		お 話 会	11月9日(土)	図書館(本館)	15人
			11月13日(水)	図書館(本館)	17人
	合 計			11,432人	
事業成果	市最大規模の文化事業であり、多くの市民に幸手の文化を鑑賞する機会を提供することができた。				

◎ 公民館開館日数及び利用者数

社会教育課

公民館名	開館日数		利用者数	
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
中央公民館	348日	347日	42,671人	32,413人
勤労青少年ホーム	348日	347日	16,671人	19,360人
西公民館	348日	347日	37,149人	37,548人
北公民館	348日	347日	33,961人	34,612人
南公民館	348日	347日	38,958人	36,175人
東公民館	348日	347日	17,406人	15,076人

◎ 公民館主催事業

社会教育課

事業目的	生涯学習活動の拠点として、公民館の利用を促進し、活動の活性化を図るために、講座の開催やクラブ活動の成果を発表するための事業を実施する。			
事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
初心者囲碁講座 (幸手市囲碁連盟との共催) 中央公民館	3月31日(日) ～ 6月2日(日) 全7回	一般 延べ98人	囲碁の初段を習得する機会を提供するとともに、参加者相互の交流により仲間づくりや団体活動の組織化を図る。	囲碁の初段習得だけでなく、参加者と講師のコミュニケーションが図られ交流を深めることができた。
春の野草研究会 (幸手自然愛護会との共催) 東公民館及び 中川周辺	4月23日(火)	一般16人	中川周辺の野草を観察し、その種類や生態について調べ、季節による植生の違いを観察し、自然に対する知識や理解をさらに深める。	食用になる野草の見分け方を学びながら、参加者の交流を深めることができた。
ふれあいサロン 西公民館	5月22日(水) ～ 1月22日(水) 全5回	乳幼児から小学生と保護者等 延べ86人	絵本の読み聞かせや親子遊び、ママトークなどを通して忙しくしているママたちがゆっくりくつろげる場を提供する。	ママトークは、子育てに対する不安解消や各種情報交換の場となった。楽しく有意義なときを過ごすことができた。
ゆかた・着物着付け講座 西公民館	6月11日(火) ～ 7月9日(火) 全5回	一般 延べ47人	一人でゆかたや着物を着ることができるようになる。	参加者から、秋・冬物の着付け講座の希望が出るほど熱意と意欲が感じられる講座であった。

◎ 公民館主催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
スマートフォン・タブレット入門講座 北公民館	6月17日(月)～ 8月19日(月) 全5回	一般 延べ61人	スマートフォン・タブレットの活用方法等について習得する機会を提供し、参加者相互の仲間づくりを図る。	講師と参加者のコミュニケーションが図られ、スマートフォン等の使い方を習得することができた。
初心者エアロビクス講座 中央公民館	6月19日(水)～ 7月17日(水) 全5回	一般 延べ35人	リズムに合わせて楽しくエアロビクスをすることで、仲間づくりと健康増進を図る。	講師と受講者が一体となり、コミュニケーションをとりながら、楽しく体を動かすことができた。
自分史講座 中央公民館	6月20日(木)～ 7月18日(木) 全5回	一般 延べ10人	自分の歴史について、きちんとした形式でまとめていくことで自身の人生を振り返る。	受講者それぞれが、個性豊かな自分史を完成させることができた。
健康体操講座 東公民館	6月25日(火)～ 7月23日(火) 全5回	一般 延べ56人	悪い姿勢からくる体の痛みを改善するために、必要な体操や知識を習得する。	初日に姿勢を確認した後に必要な体操や知識を取得し、最終日に悪い姿勢がどのように改善されたかを比較できた。
マットピラティス講座 南公民館	6月30日(日)～ 7月28日(日) 全5回	一般 延べ79人	お腹の中の深部の筋肉を刺激しながら小さな筋肉までバランスよく使いこなすことで調和のとれた本来の自然な体に整える。	看護師である講師の教え方もあり、受講生からは好評で、「またぜひ開催してほしい」という声がたくさんあった。
親子クラフトバンド手芸講座 中央公民館	7月24日(水)～ 7月26日(金) 全3回	小中学生とその保護者 5組10人	再生紙で出来たカラークラフトバンドを使って、小物やバッグなど実用的なものを作る。	親子で協力して作業し、楽しみながら世界で一つだけの作品を作ることができた。

◎ 公民館主催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
親子ボウリング教 室 中央公民館	7月30日(火)	小中学生とその保護者 6組13人	プロの指導によりボウリングの楽しさを知るとともに親子のコミュニケーションを図る。	ボウリングのマナーであるハイタッチを通じ親子のスキンシップを取りながら楽しむことができた。
第5回幸手本因坊・子ども本因坊囲碁大会 (幸手市囲碁連盟との共催) 北公民館	8月4日(日)	一般・子ども 延べ139人	①本因坊戦 ②段位戦 ③級位戦(1～5級) ④級位戦(6級以下) ⑤子ども本因坊戦(19路盤) ⑥子ども級位戦(13路盤)	対局参加者139名の参加があった。巻幡プロによる初心者囲碁講座は参加者に大変好評で、囲碁の普及を図ることができた。
暮らしに役立つ占い講座 北公民館	8月8日(木)～ 9月26日(木) 全4回	一般 延べ34人	占い(気学)に興味や関心を持ち、日常生活に役立てるよう楽しく学び参加者相互の交流を図る。	占いについて参加者の関心を高めることができた。
スリッパ卓球大会 中央公民館	8月26日(月)	小中学生 12人	卓球のラケットをスリッパに持ち替えて行うユニークな競技を通じて、体を動かすことを楽しみ、仲間づくりを図る。	学年を超えた交流の場となり、卓球経験の有無を問わず、競技を楽しむことができた。
ピラティス講座 西公民館	8月29日(木)～ 9月26日(木) 全5回	一般 延べ93人	柔軟体操を主としたエクササイズで、姿勢改善、身体のバランス能力向上、肩こりや腰痛の解消、新陳代謝の促進を図る。	講師と受講者がコミュニケーションを図り、無理なく楽しく体を動かし健康増進を図ることができた。
北公民館いきいき大学 北公民館	10月3日(木)～ 10月31日(木) 全5回	一般 延べ61人	いきいきと健康で生きがいのある生活を送るために、日常生活に役立つ事柄を学ぶ。	食生活の見直しや、暮らしの防犯対策などについて講話を聞き、生活の役に立つ情報を学習することができた。

◎ 公民館主催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
大人のお菓子作り講座 中央公民館	10月5日(土)	一般 5人	本格的なお菓子作り体験を通じ、家庭でも実践できる技術の習得を図る。	プロのケーキ職人の指導を受け、本格的なお菓子作りの技術習得ができた。
フロアカーリング教室 (幸手市レクリエーション協会との共催) 南公民館	10月5日(土)～ 10月26日(土) 全3回 (台風により1回中止)	一般 延べ44人	誰でも気軽に楽しめる「フロアカーリング」の教室をとおして楽しく身体を動かし、市民の健康増進と参加者同士のコミュニケーションの推進を図る。	高齢者にも簡単に取り組むことができ、生涯スポーツとして楽しめていた。最終日にはクラブとして活動することが決定し団体登録された。
秋の自然観察会 (幸手自然愛護会との共催) 中央公民館	10月17日(木)	一般 26人	秋の自然の観察を通して、植物の分類や観察の手法、楽しさを体験し自然のしくみを楽しみながら学ぶ。	台風19号の影響で増水した渡良瀬遊水池を見学した。自然の脅威を目の当たりにし、自然との共存の在り方を学べた。
親子で楽しいお菓子作り体験講座 中央公民館	10月20日(日)	小学生及び保護者 5組11人	親子でのお菓子作りを通じて、料理の楽しさを知るとともに親子のコミュニケーションを図る。	プロのケーキ職人の指導により親子でケーキ作り体験を通じ、楽しみながら絆を深めることができた。
美術・図工わくわく体験教室 学びっ人村	10月26日(土)～ 2月16日(日) 全9回	幼稚園児相当から小・中学生 延べ34人	木工工作・粘土の立体作品や紙版画などの平面作品を制作する体験活動を行う。	様々な素材からその特徴を生かした思い思いの作品を、楽しくのびのびと制作することができた。
郷土芸能大会 (郷土芸能保存会との共催) 西公民館	10月27日(日)	一般 150人	伝統ある郷土芸能(高須賀大杉ばやし・松石ささら獅子舞)のすばらしさを、大勢の方に知っていただく。	行幸小児童によるよさこいソーランもあり、伝統文化のすばらしさを味わうことができた。

◎ 公民館主催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
正しいスマホ・タブレットの使い方講座 東公民館	10月29日（火） ～ 12月10日（火） 全4回	一般 延べ27人	スマホやタブレットの正しい活用方法等について習得する機会を提供するとともに、参加者相互の仲間づくりや交流を図る。	参加者同士や講師の方と熱心にコミュニケーションが図られ、スマホやタブレットの正しい活用方法を習得できた。
茶道講座 東公民館	10月30日（水） ～ 11月27日（水） 全5回	一般 延べ38人	お茶を介して人と人との交流を図り、おもてなしの心を学ぶ。	経験者も受講していたので、より高度な作法を習得でき、コミュニケーションを図りながら楽しく学ぶことができた。
ボンジュールベナン事業 フランス語講座 中央公民館	11月11日（月） ～ 2月17日（月） 全10回	一般 延べ130人	ホストタウン交流事業の一環としてベナン共和国の公用語であるフランス語に親しみ、初級程度習得を目指す。	シャンソンを聴くなどフランスの文化に触れながらフランス語を楽しむことができた。
初心者ヨガ講座 北公民館	11月12日（火） ～ 12月17日（火） 全5回	一般 延べ78人	ヨガのポーズでしなやかな身体づくりとストレスを改善し健康増進を図る。	講師の指導がわかりやすく、健康増進の意欲付けができ参加者の生活に役立てることができた。
さいかつぼーる教室 （幸手市レクリエーション協会との共催） 南公民館	11月16日（土） ～ 12月7日（土） 全4回	一般 延べ55人	誰でも気軽に楽しめるレクリエーションスポーツ「さいかつぼーる」の教室を通して楽しく身体を動かし、健康増進と参加者同士のコミュニケーションの推進を図る。	ボールがどの方向に弾むか判断が難しくボール処理に戸惑っていたが、逆にそこが楽しく、大きな声や笑い声のある教室で楽しく身体を動かすことができた。
いきいき健康講座 （子ども大学さつと共催） 日本保健医療大学	11月17日（日）	一般 14人	子ども大学の講座に合わせて、「自分の健康を維持するとともに、人の命を救うため」をテーマにラフターヨガと心肺蘇生法を学ぶ。	子供たちとの一緒に体験が楽しいとの声が多かった。健康についての関心が高く、意欲的に参加する姿が見られた。

◎ 公民館主催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
ボンジュール ベナン事業 ベナン料理講座 南公民館	11月24日(日) ～ 12月15日(日) 全3回	一般 延べ28人	ホストタウン交流事業の一環としてベナンの料理作りを通してベナン共和国を知り、交流の一助とする。	講師の人柄が穏やかで陽気だったため、馴染みのない外国料理も和やかな雰囲気の中で楽しく作ることができた。講師もベナンを知ってもらえる機会を得てうれしかった。
そば打ち講座 東公民館	11月25日(月) ～ 12月23日(月) 全4回	一般 延べ44人	そば打ちを体験し、その経験を生かして家庭で実践できるようにする。また、参加者同士のコミュニケーションを図る。	コミュニケーションを図りながら、そば打ちの指導を受け、楽しく学ぶことができた。
七草がゆを 食べる会 (幸手自然愛護 会との共催) 中央公民館	1月7日(火)	一般 18人	春の七草にまつわる風習や伝統を学び、七草がゆの試食を体験することにより、人と自然の関わりを実感する。	公民館付近の倉松川土手を散策し、春の七草観察をするとともに、料理室で七草がゆをつくり、試食することができた。
そば打ち講座 西公民館	1月20日(月) ～ 2月17日(月) 全4回	一般 延べ31人	参加者同士のコミュニケーションを図りながらそば打ちを体験し、その経験を生かし家庭で実践できるようにする。	参加者同士が協力して講義を受け、自宅で復習するなど意欲的な姿が見られ、上手にそばが打てるようになった。
フランス刺繍 講座 中央公民館	1月24日(金) ～ 2月28日(金) 全3回 (全5回を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため2回中止)	一般 延べ43人	フランス刺繍の基本的な刺し方を学びながら、オリジナルの作品作りを楽しむと同時に、仲間づくりを図る。	受講者同士の会話を楽しみながら、それぞれの感性で個性豊かな作品を作ることができた。

◎ 公民館主催事業のつづき

社会教育課

事業名及び場所	開催期間等	対象者及び参加者数	事業内容	事業成果
健康体操講座 北公民館	1月28日(火) ～ 3月3日(火) 全5回	一般 延べ86人	悪い姿勢からくる体の痛みを改善するために必要な体操や知識を習得する。	痛みを緩和するためのセルフケアなどを丁寧な指導により学ぶことができ、必要な動きや知識を得ることができた。
初心者ヨガ講座 東公民館	2月4日(火) ～ 3月3日(火) 全4回	一般 延べ44人	ヨガを行うことで、しなやかな体を作り、また、深い呼吸をすることで、ストレスを改善し、健康増進を図る。	受講者の多くがヨガに興味を持って参加し、コミュニケーションを図りながら、楽しくヨガの基本を学ぶことができた。
健康改善 ストレッチ体操 南公民館	3月4日(水) ～ 3月25日(水) (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	一般 申込20人	ダイエットや美容効果促進もあるストレッチで、“からだケア”をする。	
第39回 公民館まつり (展示の部) 南公民館	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。			
第39回 公民館まつり (発表の部) 北公民館	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。			

◎ 図書館開館日数等

社会教育課

	令和元年度		平成30年度			
	開館日数	本館	297日	本館	306日	
	香日向分館	299日	香日向分館	310日		
貸出人数	本館	57,144人	本館	60,598人		
	香日向分館	24,674人	香日向分館	24,583人		
貸出冊数	本館	210,087冊	本館	224,782冊		
	香日向分館	51,998冊	香日向分館	51,687冊		
図書購入費	図書	数量	8,095冊	図書	数量	8,092冊
		金額	15,654,495円		金額	15,460,002円
	A V資料	数量	356点	A V資料	数量	356点
		金額	1,611,028円		金額	1,744,245円

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月14日(土)から3月31日(火)まで臨時休館。

◎ 蔵書内容

社会教育課

	平成30年度末蔵書数	令和元年度			令和元年度末蔵書数
		購入	寄贈等	払出	
一般書	115,084冊	5,875冊	366冊	2,374冊	118,951冊
児童書	58,249冊	2,149冊	62冊	1,288冊	59,172冊
郷土資料	5,519冊	3冊	106冊	20冊	5,608冊
紙芝居	2,340冊	68冊	16冊	68冊	2,356冊
合計	181,192冊	8,095冊	550冊	3,750冊	186,087冊

◎ 図書館協議会

社会教育課

事業目的	図書館の運営や図書館サービスに対する意見・提案をいただき、業務の運営に役立てる。		
事業内容	期日・会場	内 容	
	8月30日（金） 図書館視聴覚室	（1）令和元年度図書館要覧について （2）平成30年度事業報告について （3）その他	
事業内容	3月18日（水） 図書館視聴覚室	（1）令和2年度事業計画について （2）利用者アンケートについて （3）令和2年度以降の指定管理者について （4）その他 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	事業成果	図書館を円滑に運営し、図書館運営や利用者へのサービス向上を図ることができた。	

◎ 第28回幸手市さくらマラソン大会開催事業

社会教育課

事業目的	生涯スポーツの推進をめざすため、健康ふれあいスポーツ都市 幸手市にふさわしく、誰もがスポーツをとおして豊かな生活を営むこととあわせて心身の健全な育成に寄与することを目的とする。また、さくらのまち幸手市のイメージアップを図る。		
事業内容	期日・会場	部 門	参加申込者数
	4月7日（日） 幸手総合公園陸上グラウンド	10マイルコース 3 kmコース 2 kmコース	3,459人 103人 504人
事業成果	さくらマラソン大会のメインである10マイル（約16.1km）コースには、全国各地から3,459人の参加申込を受け、当日は多くの方が権現堂桜堤と菜の花畑を走りぬけた。観桜客からの温かい声援もあり、参加者は桜と菜の花を楽しみに毎年参加している方が多い。幸手市のPRにもつながり、幸手市のイメージアップが図られた。		

◎ ふるさとづくり第64回市民体育大会

社会教育課

事業目的	広く市民にスポーツ・レクリエーションを普及し、市民の健康増進と体力の向上を図るとともに、地域の連帯感を高め、明るく豊かな市民生活の形成と文化の発展に寄与する事を目的とする。			
主催	幸手市・幸手市教育委員会・幸手市体育協会・幸手市レクリエーション協会			
主管	ふるさとづくり第64回市民体育大会実行委員会			
方法	委託事業 委託料 2,200,000円			
事業内容	第1部（地区大会） 体育協会各支部等が主管団体となり、健康づくりと地域コミュニティの推進を図るため、地区をあげてスポーツ・レクリエーションの祭典として実施する。			
	地区名	期 日	会 場	参加者数
	行幸地区	9月29日（日）	行幸小学校	1,500人
	八代地区	9月29日（日）	八代小学校	1,500人
	さくら小地区	9月29日（日）	さくら小学校	523人
	北地区	9月29日（日）	幸手中学校	800人
	上高野地区	9月29日（日）	上高野小学校	1,100人
	長倉地区	9月29日（日）	長倉小学校	1,100人
	権現堂川地区	10月6日（日）	権現堂川小学校	700人
	栄地区	10月13日（日）	さかえ小学校	中止
	吉田地区	10月13日（日）	吉田小学校	中止
	香日向地区	10月20日（日）	旧香日向小学校	620人
	中地区	10月20日（日）	幸手小学校	250人
	第 1 部	合 計		8,093人

◎ ふるさとづくり第64回市民体育大会のつづき

社会教育課

事業内容	第2部（種目別大会） 体育協会及びレクリエーション協会加盟団体が主管団体となり、広く市民から参加者を集い、スポーツ・レクリエーションの普及を図る。			
	種目	期日	会場	参加者数
	テニス	8月18日（日） ～全4日	総合公園庭球場	210人
	柔道	9月1日（日）	武道館	88人
	野球	9月1日（日） ～全7日	ひばりヶ丘球場	480人
	空手道	9月8日（日）	市民文化体育館	162人
	ゴルフ	10月3日（木）	フレンドシップカントリークラブ	146人
	卓球	10月6日（日）	市民文化体育館	82人
	バレーボール	10月13日（日） ～全2日	海洋センターほか	193人
	ゲートボール	10月14日（祝）	老人福祉センター	33人
	インディアカ	10月20日（日）	市民文化体育館	358人
	剣道	10月20日（日）	武道館	45人
	ソフトボール	10月20日（日） ～全2日	神扇グラウンドほか	440人
	弓道	10月22日（祝）	武道館	28人
	グラウンド・ゴルフ	10月27日（日）	総合公園陸上グラウンド	187人
	ターゲット・バードゴルフ	10月28日（月）	総合公園さくらふれあい広場	28人
	ソフトバレーボール	11月17日（日）	市民文化体育館	167人
	サッカー	12月1日（日）	総合公園陸上グラウンド	202人
	ミニテニス	12月8日（日）	市民文化体育館	52人
	スキー	3月1日（日）	菅平高原スキー場	中止
第2部合計				2,901人
事業成果	大会の開催により、市民の健康増進と市民との協働によるスポーツ・レクリエーション活動の推進が図れた。			

◎ 委託教室開催事業

社会教育課

事業目的	市民のスポーツ・レクリエーション等への参加を促進するため、スポーツ教室を実施し、市民の健康と体力の向上、交流の場及び各種スポーツの推進を図る。				
事業内容	教室名	委託先	対象	期日・会場	参加者数 (延べ)
	第3回ティーボール教室	スポーツ少年団野球部会	小学1年生～3年生	5月25日(土)～11月30日(土) 全10回 ひばりヶ丘球場ほか	177人
	グラウンド・ゴルフ初心者教室	グラウンド・ゴルフ協会	一般男女	6月1日(土)～6月16日(日) 全6回 ひばりヶ丘桜泉園	26人
	弓道初心者教室	弓道連盟	中学生～一般男女	6月12日(水)～7月10日(水) 全5回 武道館	18人
	ターゲット・バードゴルフ教室	幸手ターゲット・バードゴルフクラブ	一般男女	6月22日(土)～7月7日(日) 全5回 総合公園 さくらふれあい広場	8人
	槇の風グラウンド・ゴルフ教室	槇の風グラウンド・ゴルフ	一般男女	8月24日(土)～11月9日(土) 全11回 槇野地グラウンド	140人
	合 計				369人
事業成果	教室の開催により、市民の健康づくりと、スポーツ・レクリエーション活動の普及、参加者の交流が図れた。				

◎ 社会体育関係団体の概要と補助金（一般補助）

社会教育課

事業目的	市内のスポーツ・レクリエーション団体を支援するため補助金を交付することで、スポーツ・レクリエーション活動の普及と市民の健康づくりを推進する。			
交付実績	団体名・会長名	主 な 活 動	会 員 数 等	交 付 額
	幸手市体育協会 会長 宮杉 勝男	<ul style="list-style-type: none"> ・ さくらマラソン大会 ・ 「スポーツ幸手」発行 ・ 各支部開催の交流事業への補助 ・ 各加盟団体開催の交流事業及びスポーツ教室への補助 	9 支部 18 競技団体 5,381 人	3,050,000円
	幸手市スポーツ少年団 本部長 斉藤 一夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種目別各種大会 ・ 親子スポーツレクリエーション大会 ・ 幸手市駅伝競走大会 	16 団 指導者 194 人 団 員 295 人	700,000円
	幸手市レクリエーション協会 会長 青木 章	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普及事業の開催 ・ 各加盟団体開催の交流事業及びスポーツ教室への補助 	6 競技団体 344 人	250,000円
	幸手市スポーツ推進委員連絡協議会 会長 熊倉 仁一	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種研修会への参加 ・ スポーツの実技指導 ・ スポーツ行事、事業の協力 ・ 会議の開催 	21 人	140,000円
事業成果	活動団体に補助金を交付することにより、事業運営の充実が図られ、スポーツ・レクリエーション活動の普及や、健康づくりが図れた。			

◎ ふれあいスポーツ塾

社会教育課

事業目的	高齢者がスポーツをとおして健康づくりを進めるとともに、新たなスポーツ体験を通じて、生きがいをづくりや交流を支援するために、事業を実施する。		
対象	市内在住・在勤の60歳以上の方		
参加者数	65人		
事業内容	期 日	事 業 内 容	開 催 場 所
	11月19日（火）	KUBIRE（くびれ）体操教室	武 道 館 柔 道 場
	11月26日（火）	アスカル幸手トレーニング室体験会	市民文化体育館 トレーニング室
	12月3日（火）	リンパ整体体操教室	武 道 館 柔 道 場
事業成果	健康づくりやスポーツに対する関心が深められ、参加者の交流も図れた。		

◎ カヌー体験事業

社会教育課

事業目的	カヌーをとおして、技術向上と仲間づくりを進めるとともに、水の楽しさを知り、心身の健全育成及び体力づくりを推進する。また、水に親しみながら、水辺の事故を防ぐための知識と技術を身につける。		
対象	市内在住・在学（小学1年生以上）		
参加人数	42人		
事業内容	期 日	事 業 内 容	開 催 場 所
	8月3日（土）	開講式・水辺の安全教室・クリーン活動・カヌー実践	幸 手 中 学 校 プ ー ル
	8月4日（日）	開講式・水辺の安全教室・カヌー実践	幸 手 中 学 校 プ ー ル
事業成果	初心者が多数だったが、楽しく安全に楽しみながら体験できたことで、競技の普及が図られたとともに、水辺の安全についても啓発できた。		

◎ ボンジュールベナン交流事業
 (埼玉県ふるさと創造資金充当事業)

社会教育課

事業目的	市とベナン共和国大使館関係者や在日ベナン人を対象にした交流事業と同国の紹介を行うことで、東京2020年オリンピック・パラリンピック大会前に機運を醸成させる。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ベナン料理講座 ・ベナン紹介講演会 ・フランス語講座 ・ベナンの友達にビデオレターを送ろう ・伝統芸能体験 ・啓発品及びPR品の作成、配布 ・市民まつり ・幸手市・五霞町合同祝賀花火大会in権現堂
事業費	1,978,743円
事業成果	料理講座及びフランス語講座を複数回開催することで多くの参加者を得ることができた。また、ビデオレター、講演会などの実施により、参加者がベナン共和国を学び、体験できたことにより、同国やホストタウンをPRすることができた。

◎ 学校体育施設開放事業

社会教育課

事業目的	地域住民に身近な学校体育施設を、学校教育に支障のない範囲において開放し、スポーツ・レクリエーション活動の場を提供する。				
事業内容	学 校 名	施 設 名	開放日数	利用者数	主 な 利 用 種 目
	幸 手 小	校 庭	77日	3,197人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球 ・少年サッカー ・インディアカ ・ミニテニス
		体 育 館	87日	2,065人	
		夜間体育館	90日	1,035人	
	長 倉 小	校 庭	66日	3,630人	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・少年野球 ・バドミントン ・インディアカ
		体 育 館	64日	1,206人	
		夜間体育館	62日	949人	
	上 高 野 小	校 庭	106日	9,725人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球 ・サッカー ・ソフトボール ・卓球 ・インディアカ
		体 育 館	91日	3,861人	
		夜間校庭	109日	5,030人	
		夜間体育館	144日	3,060人	
	行 幸 小	校 庭	71日	3,439人	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・少年野球 ・少女バレーボール ・インディアカ
		体 育 館	68日	1,585人	
		夜間体育館	198日	2,181人	
	八 代 小	校 庭	66日	3,160人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球 ・グラウンド・ゴルフ ・ミニテニス ・ソフトバレーボール
		体 育 館	11日	280人	
		夜間体育館	242日	2,557人	
	吉 田 小	校 庭	84日	2,006人	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・少年野球 ・ソフトバレーボール ・バドミントン
		体 育 館	15日	365人	
		夜間体育館	127日	1,113人	
	さ か え 小	校 庭	55日	992人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球 ・サッカー ・ミニバスケットボール ・ソフトバレーボール
		体 育 館	46日	2,618人	
		夜間体育館	73日	2,108人	

◎ 学校体育施設開放事業のつづき

社会教育課

	学 校 名	施 設 名	開 放 日 数	利 用 者 数	主 な 利 用 種 目
事業内容	さくら小	校 庭	94日	7,328人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年サッカー ・少年野球 ・ミニテニス ・ミニバスケットボール
		体 育 館	76日	4,770人	
		夜間体育館	231日	4,151人	
	権現堂川小	校 庭	87日	1,446人	<ul style="list-style-type: none"> ・少年野球 ・ソフトボール ・ミニテニス ・バドミントン
		体 育 館	52日	827人	
		夜間体育館	0日	0人	
	合 計	校 庭	706日	34,923人	令和元年度利用者数 延べ 74,684人
		体 育 館	510日	17,577人	
		夜間校庭	109日	5,030人	
		夜間体育館	1,167日	17,154人	
事業成果	地域の身近なスポーツ施設として、地域住民を中心に利用され、スポーツの普及と地域の交流が図れた。				

◎ 体育施設の概要と利用者数

社会教育課

施設名	施設概要	規模	利用者数
武道館	市の武道の拠点施設として、昭和59年に柔道場と剣道場を開設。 平成3年には、弓道場を開設。	(柔道場・剣道場) 鉄骨2階建 敷地面積 1,920 m ² 延べ床面積 1,323 m ² 1F 柔道場 420 m ² 2F 剣道場 406 m ² (弓道場) 鉄骨平屋建 延べ床面積 272 m ² 近的(6人立) 28 m	29,840人
B & G 海洋センター	B & G財団の補助を受け、昭和57年に開設。 昭和60年に譲渡を受ける。	体育館 鉄骨コンクリート建 敷地面積 9,003 m ² 延べ床面積 1,102 m ²	17,002人
ひばりヶ丘球場	ナイター照明を取り付けた本格的な野球場として、平成4年に開設。	両翼 92 m センター 120 m メインスタンド 1,460人 芝生スタンド 3,000人	18,297人
幸手総合公園	雇用・能力開発機構の補助を受け、勤労者福祉施設として、昭和62年に開設。 平成11年度にグラウンドを改修。	陸上グラウンド 24,000 m ²	30,060人
		庭球場 4,500 m ² 人工芝(全天候型) 6面 (内 夜間照明設備 3面)	18,094人
神扇グラウンド	一般廃棄物最終処分場跡地の有効利用を図るため、平成13年に開設。	敷地面積 19,370 m ² 野球等グラウンド 2面 (バックネット 2面) トイレ 8基 倉庫 5基	8,889人
少年サッカー場	旧権現堂川小学校跡地を再利用し、昭和62年に開設。	敷地面積 8,112 m ² 少年用サッカー場 1面 管理棟 1棟 器具庫 1棟	3,380人
大島新田多目的グラウンド	県有地である大島新田を借用し、杉戸町と共同して多目的グラウンドとして整備した施設。平成12年に開設。	敷地面積 10,800 m ² トイレ1棟 13.98 m ²	715件
市民文化体育館(アスカル幸手)	大規模なスポーツ・文化イベントが開催できる複合施設。平成7年に開設。	鉄骨鉄筋コンクリート造 敷地面積 26,865 m ² 延べ床面積 10,521 m ² メインアリーナ 2,050 m ² さくらホール 1,070 m ²	245,200人

◎ 公園等長寿命化対策事業（社会資本整備総合交付金充当事業）

社会教育課

事業目的	公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の更新工事を行い、誰もが安全で安心して利用できる施設環境の整備を図る。		
事業名	施工場所	事業概要	事業費
公園施設長寿命化工事	幸手総合公園 テニスコート	テニスコート3面改修工事	25,520,000円

《財産運用の推移について》

◎ 基金（積立基金）

(1) 財政調整基金

財政課

基金の目的	地方財政法第4条の3第1項及び第7条第1項の規定に基づき、年度間における財源の調整を行い、市財政の健全な運営に資することを目的とした基金である。	
運用状況	平成30年度末現在高	622,142,878円
	平成31年4月1日（取崩）	400,000,000円
	令和2年3月24日（積立）	386,826,000円
	令和2年3月24日（利子積立）	26,583円
	令和元年度末現在高	608,995,461円

(2) 公共施設整備基金

財政課

基金の目的	公共施設の整備にあたり、その整備費用に資することを目的とした基金である。	
運用状況	平成30年度末現在高	53,476,690円
	令和2年3月24日（利子積立）	30,170円
	令和元年度末現在高	53,506,860円

(3) 減債基金

財政課

基金の目的	市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる市財政の健全な運営に資することを目的とした基金である。	
運用状況	平成30年度末現在高	278,226,290円
	平成31年4月1日（取崩）	100,000,000円
	令和2年3月24日（利子積立）	236,692円
	令和元年度末現在高	178,462,982円

(4) 地域福祉基金

社会福祉課

基金の目的	在宅福祉・ボランティア活動の推進等、地域における保健福祉活動の振興を図ることを目的とした基金である。	
運用状況	平成30年度末現在高	29,234,119円
	令和2年3月24日（利子積立）	152,591円
	令和2年3月24日（取崩）	152,591円
	令和元年度末現在高	29,234,119円
	※令和元年度歳入として、152,591円を取り崩した。 取崩しについては、車椅子同乗車輛貸出事業の助成として、社会福祉協議会に支出した。	

(5) 学校教育施設整備基金

総務課

基金の目的	学校教育施設の整備資金に充てることを目的とした基金である。	
運用状況	平成30年度末現在高 令和2年3月24日（利子積立） 令和元年度末現在高	3,580,655円 2,019円 3,582,674円

(6) 子育て応援基金

こども支援課

基金の目的	子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進し、子育て支援のより一層の充実を図ることを目的とした基金である。	
運用状況	平成30年度末現在高 令和2年3月24日（利子積立） 令和元年度末現在高	21,882,778円 12,343円 21,895,121円

(7) 庁舎建設基金

財政課

基金の目的	幸手市の新庁舎の建設費用に資することを目的とした基金である。	
運用状況	平成30年度末現在高 令和2年3月24日（積立） 令和元年度末現在高	0円 33,228,000円 33,228,000円

(8) 森林環境譲与税基金

政策課

基金の目的	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第27条に規定する森林環境譲与税について、森林整備及びその促進に要する経費の財源に充てることを目的とした基金である。	
運用状況	平成30年度末現在高 令和2年3月24日（積立） 令和元年度末現在高	0円 2,032,000円 2,032,000円

◎ 基金（定額運用基金）

(1) 土地開発基金

契約管財課

基金の目的	公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要がある土地を、予め取得することにより、事業の円滑な執行を図ることを目的とした基金である。	
運用状況	平成30年度末現在高 令和2年3月24日（利子積立） 令和元年度末現在高	25,991,144円 14,661円 26,005,805円

◎ 債 権

(1) 入学準備貸付金債権

総務課

債 権 の 目 的	高等学校、大学及び専修学校に入学を希望する市民の保護者で、入学準備金の調達が困難な家庭に対して、入学準備金の貸付を行い、等しく教育を受ける機会を与えることを目的とするものである。	
運 用 状 況	平成30年度末現在高	15,303,750円
	平成31年4月 (償還 1件)	50,000円
	令和元年5月 (償還 1件)	10,000円
	令和元年6月 (償還 3件)	120,000円
	令和元年7月 (償還 4件)	85,000円
	令和元年8月 (償還 3件)	45,000円
	令和元年10月 (償還 19件)	870,000円
	令和元年11月 (償還 2件)	125,000円
	令和元年12月 (償還 6件)	205,000円
	令和2年1月 (償還 7件)	140,000円
	令和2年2月 (償還 4件)	65,000円
	令和2年3月6日 (貸付 3件)	1,250,000円
	令和2年3月16日 (貸付 1件)	500,000円
	令和2年3月18日 (貸付 1件)	250,000円
	令和2年3月26日 (貸付 1件)	500,000円
	令和2年3月 (償還 13件)	515,000円
	令和2年4月 (償還 9件)	240,000円
	令和2年5月 (償還 2件)	35,000円
	令和元年度末現在高	15,298,750円

(2) 住宅新築資金等貸付金債権

人権推進課

債 権 の 目 的	歴史的、社会的理由により生活環境等の安定向上が阻害されている地域の改善を図るため、住宅の新築若しくは不良住宅の改修、又は住宅の用に供する土地を取得しようとする者に対し、必要な資金の貸付を行い、もって公共の福祉に寄与することを目的とする。	
運 用 状 況	平成30年度末現在高	10,453,658円
	平成31年4月 (償還 1件)	26,843円
	令和元年6月 (償還 1件)	44,738円
	令和元年9月 (償還 1件)	44,738円
	令和元年10月 (償還 1件)	44,738円
	令和元年12月 (償還 1件)	44,738円
	令和2年2月 (償還 1件)	44,895円
	令和2年3月 (不納欠損 1件)	8,234,183円
	令和元年度末現在高	1,968,785円

(3) 土地開発公社経営健全化無利子貸付金債権

財政課

債 権 の 目 的	市が土地開発公社に対して用地の先行取得を依頼し、その財源を無利子で貸し付けるものである。	
運 用 状 況	令和元年度末現在高	717,860,000円